

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	市バスの管理の適正化事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	総務課	担当者名 櫻井幸利・小西靖浩
	基本事業	43	病気にならない生活習慣の確立	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1219
				法令根拠	合志市バス管理及び使用規程	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	2	1	1	11028			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】保有バス2台  
1. 市バスによる各福祉施設への送迎  
2. 市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎  
3. その他市長が必要と認める事業の送迎  
【業務の流れ】  
使用申請者が所定の申請書により申し込み、運行計画に添ってバスを運行する。  
【主な予算費目】  
職員手当 雲田費(修繕料 燃料費) 役員費 公理費  
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度と同じ	
各福祉施設への送迎及び市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎	各福祉施設への送迎及び市が主催する調査、研修、スポーツ及び各種大会行事参加者の送迎	
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	→ ア バス運行回数	回
	→ イ 運行時間	時間
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
市民	→ ア 申請件数	件
利用したいと思う市民	→ イ 利用者数(延べ)	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
市バスを使い各福祉施設を利用する	→ ア 福祉施設を利用した申請数	件
市民が申請書どおり利用できる。	→ イ 同 利用者数(延べ)	人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
市民が、健全な生活習慣を身につける。	→ ア 栄養バランスを考えて3度の食事をとっている市民の割合	%
	→ イ 病気予防のためになんらかの運動をしている市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移																		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	18年度実績(決算)	0	19年度実績(決算)	0	20年度目標(当初予算)	0	20年度実績(決算)	0	21年度目標(当初予算)	0	22年度(目標)	0	23年度(予定)	0	全体計画 ~ 年度
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	1,427	1,243	1,840	1,520	1,878	1,879	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878			
		(A) 事業費計	千円	1,427	1,243	1,840	1,520	1,878	1,879	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878			
		うち指定経費	千円															
		うち時間外、特殊勤務手当	千円															
		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	2,400	1,685	1,850	1,761	2,020	2,190	2,260	2,020	2,190	2,260	2,260					
	(B)人件費計	千円	9,528	6,706	7,363	7,009	8,040	8,716	8,995	8,040	8,716	8,995	8,995					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,955	7,949	9,203	8,529	9,918	10,595	10,873	9,918	10,595	10,873	10,873					
	活動指標	ア イ	回 時間	343 1693	327 1520	343 1693	347 1588	353 1743	363 1796	373 1849	353 1743	363 1796	373 1849	373 1849	目 標 合 計 数 計 画 値			
	対象指標	ア イ	件 人	348 9279	327 7788	348 9279	347 8550	358 9557	369 9844	380 10122	358 9557	369 9844	380 10122					
	成果指標	ア イ	件 人	125 2861	35 1801	125 2861	82 1429	128 2946	132 3034	136 3122	128 2946	132 3034	136 3122					
	上位成果指標	ア イ	% %	86.1 42	89.7 43.4	86.4 46	86.8 39.9	86.7 48	87 50	87.3 52	86.7 48	87 50	87.3 52					
														22 年度				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等  
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
旧合志町では各種委員及び職員研修等の使用として、旧西合志町では福祉施設利用者の便宜を図るため、各種委員及び職員研修等の使用として運行していた。合併時に2台となり旧西合志町の利用目的に統一した。  
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
各地域にサロン等が組織され、利用が増えてきている。白バス規制との絡みがある。  
H20.3「バス管理及び使用規程」を見直し、研修等の際、使用者負担としていた道路通行料、駐車場料金及び運転手の宿泊費等のほかに、指定地域(片道直線25km)を超えて運行する場合、ガソリン代を使用者負担として追加しました。また、使用の範囲の(3)、その他市長が必要と認める事業で使用する場合の適否の判断を関係課で行うこととしました。  
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
各種団体から利用できないかとの問い合わせが来ている。

事務事業名	市バスの管理の適正化事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 高齢者の外出支援及び交通手段を持たない方たちの利便性の向上に結びつく。また、研修への参加の利便性が高まる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 福祉施設の利用は住民の健康増進等へつながる。また、市の主催する事業、それに準ずる事業等の参加の利便性が向上する。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、市民であり妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 使用に関し、市民に周知することで、更に利用回数を増やすことができる
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 施設の利用率の低下及び代替措置による新たな経費の発生
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 事業の一部の福祉施設の利用の際の運行については、合志市循環バスの目的と合致するものがあるので事業調整の検討が必要である。また、生き生きサロン、各種団体、地域団体、学童クラブ等の使用及び市の主催事業 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ バスの管理費のみである。ただし、今後バスの更新時には、民間委託の検討も必要。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 送迎等に要する最低限の時間である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 施設利用者が全市民対象であり、適正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、すべてにおいて妥当である。 ②有効性については、10名以上で各福祉施設を利用する場合、市バスの運行依頼ができることを周知することにより利用回数を増やすことができる。また、類似事業との統廃合・連携の可能性については、事業の一つである福祉施設を利用する場合には循環バスとの調整が必要である。 ③効率性については、バスの管理費のみである。今後バス車両の更新

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
10名以上で各福祉施設を利用する場合、市バスの運行依頼ができることを市民へ周知することで運行回数を増やすことができると考える。(燃料代が増加)、また、事業の内容が、1、福祉施設の利用の際の運行と2、各種団体(生き生きサロン、各種団体、地域団体、学童クラブ等の使用及び市の主催事業の利用とに分かれるので、その2つの運行方法について類似事業との統廃合・連携、民間委託等の検討を併せて実施する必要がある。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		○	維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上		○																
	維持																		
	低下																		

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
類似事業との統廃合・連携の可能性では、事業の一つである福祉施設を利用する場合には循環バスとの調整が必要。また、バスの更新時まで民間委託等の検討が必要。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )